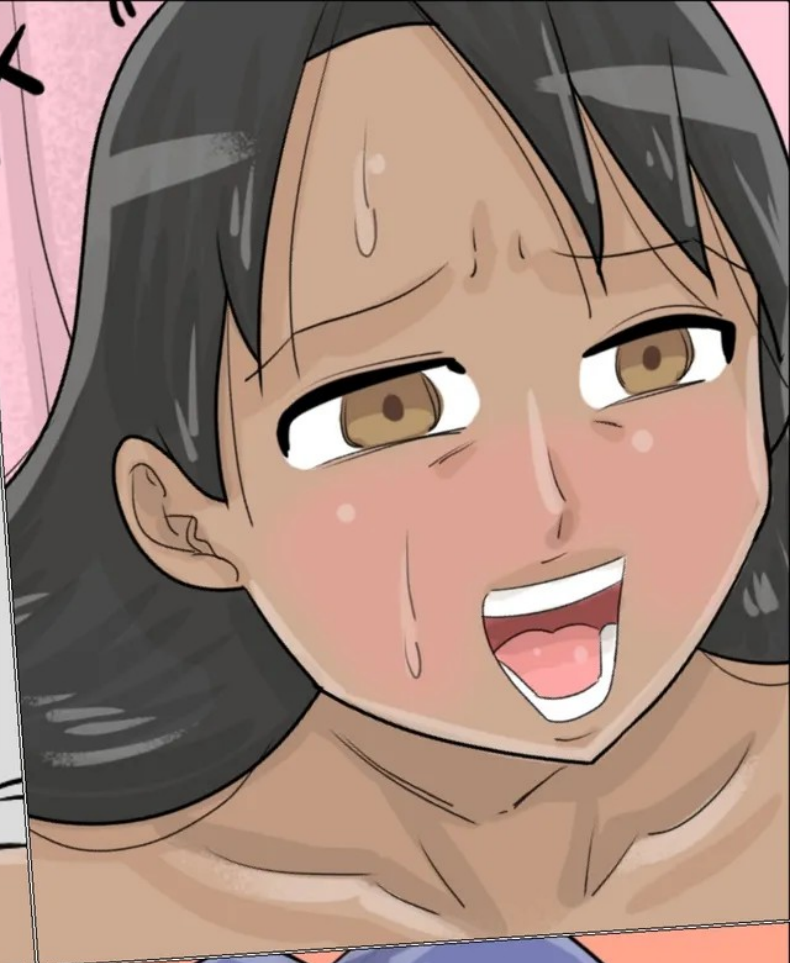
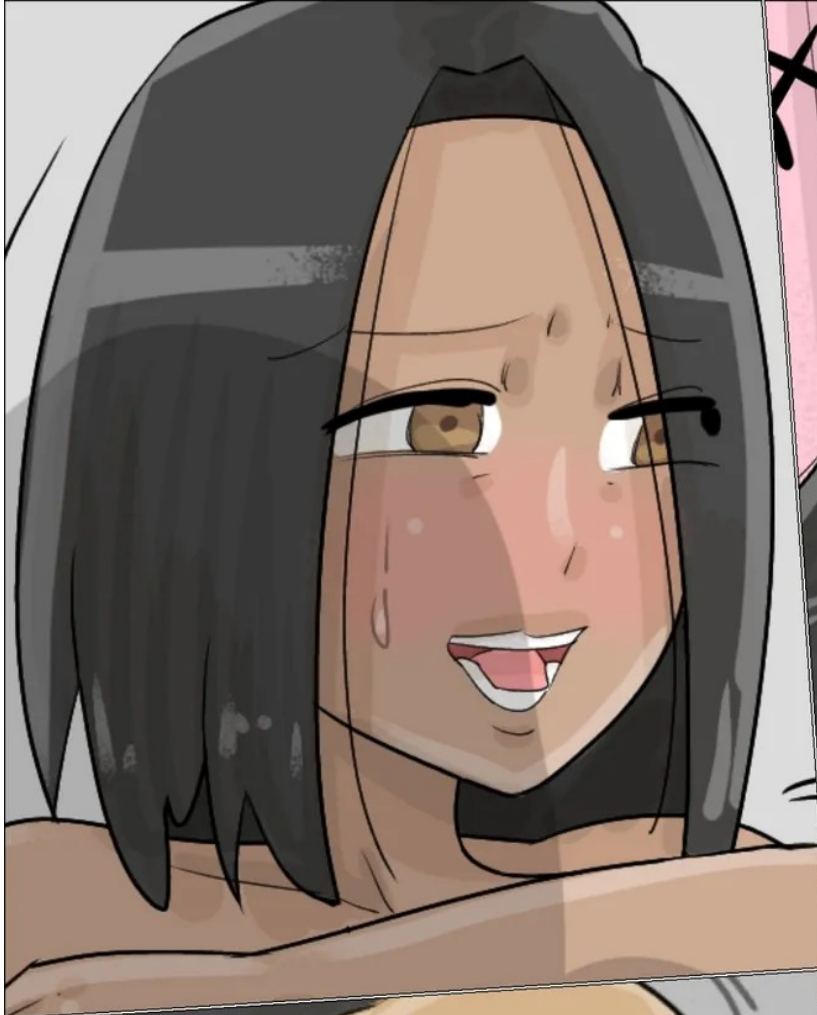






黒人女たちに  
彼氏を寝取られた。

ナナミとはずっと  
友達だった…。

コウタくん  
一緒にあーそぼ！

うん、いいよ。

のんきな僕に比べて  
ナナミはしっかり者で  
僕のお母さんみたいだった。

早くしないと  
遅刻するよ。

わかってるよ。

そして……。

好きなの…。  
その…私と…  
付き合ってくんない？

僕はナナミに  
告白された。

ありがと……。昔から…一緒にいたから…。

そういう風に  
見てなかったけど…。

だめ…？  
なの……？

そっ、  
そうじゃなくて…。

今…その…  
告白されて…  
思ったんだ…。

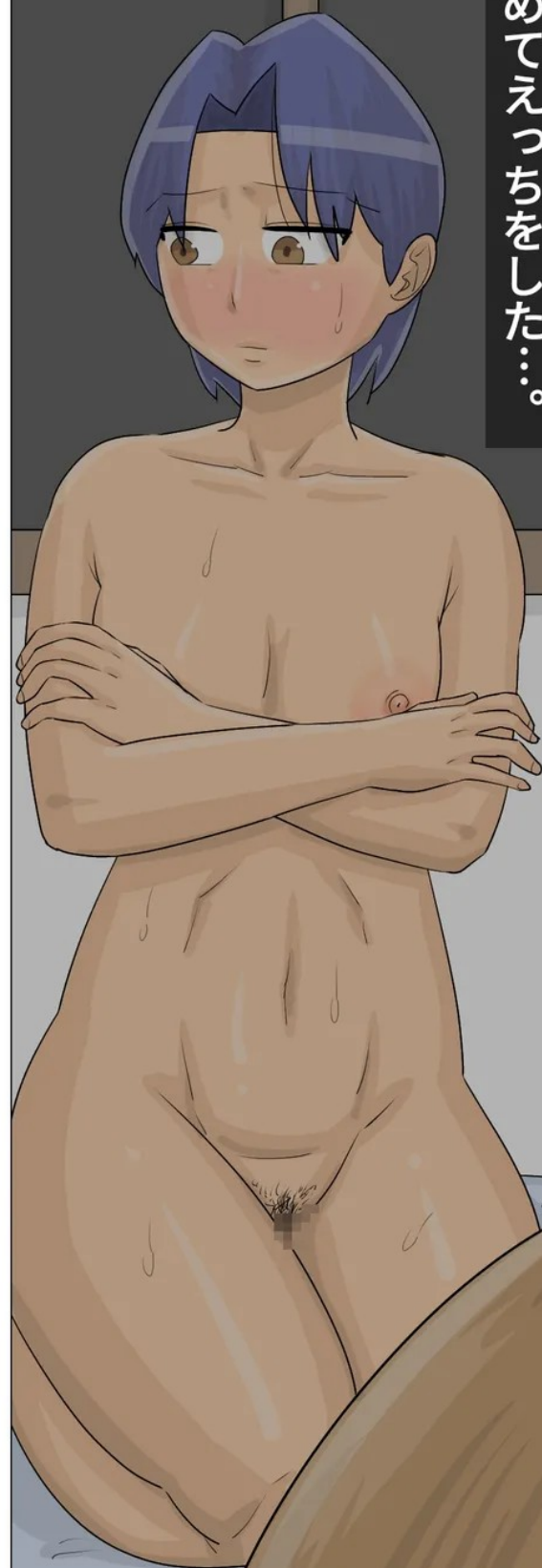
僕も…。

いつもナナミのこと……。  
考えてたなって…。

ナナミ……。僕からも言うね……。

僕と……。付き合ってください……。

それから…付き合ってから半年後、  
僕達は初めてえっちをした…。



ここで…。合ってる？  
痛くない？ナナミ？

あーちゅっ

はあ

はあ

うん、大丈夫…。  
きもちい……。  
続けて……。

はあ

はあ

はあ

はあ



ナナミ、ホント可愛い……。  
愛してる……。

すちゅっ  
すちゅっ

私も……。  
コウタ……。  
好き……。

あっ  
あっ

んっ

昔からお母さんみたいな  
存在だった幼馴染みと  
肉体関係を持つのは  
すごく興奮した……。

はあ

はあ

すちゅっ

すちゅっ

ナナミ……。  
きもちいよ……。

私も……。  
コウタ……。

だけど……。なぜかわからないけど……。僕はずっとナナミとのえっちでは射精できなかった……。

ごめん……。ナナミ……。

もういいわよ……。しっかり運動して……。早く寝てね？

不健康だから、射精できないんでしょう？

う、うん……。

彼女として……男として……。彼女の前でできないことがすごく情けなくて……。申し訳なかった……。



後日。

ありがと…。  
家まで送ってくれて…。

うん…。

じゃあ、ちゃんと  
家で筋トレしてね？  
あと早く寝ること！

よかった…。  
そんなに嫌われてなくて…。  
でも、このままじゃダメだ…。

アノ…。  
スイマセン。

ん……？

家に帰って…。  
筋トレして……。  
それと勉強も…。

道お尋ねしても  
ヨロシイデスカ？

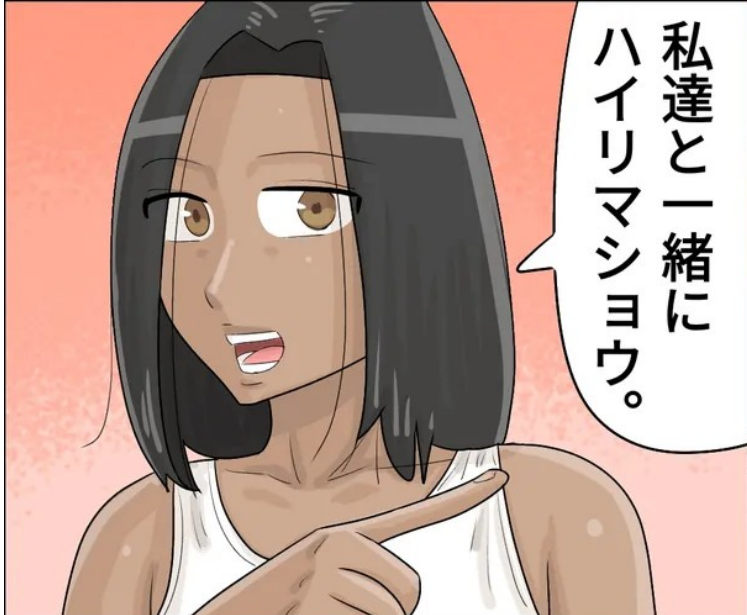
ああ…。  
えっと…。

外国の人だ…。

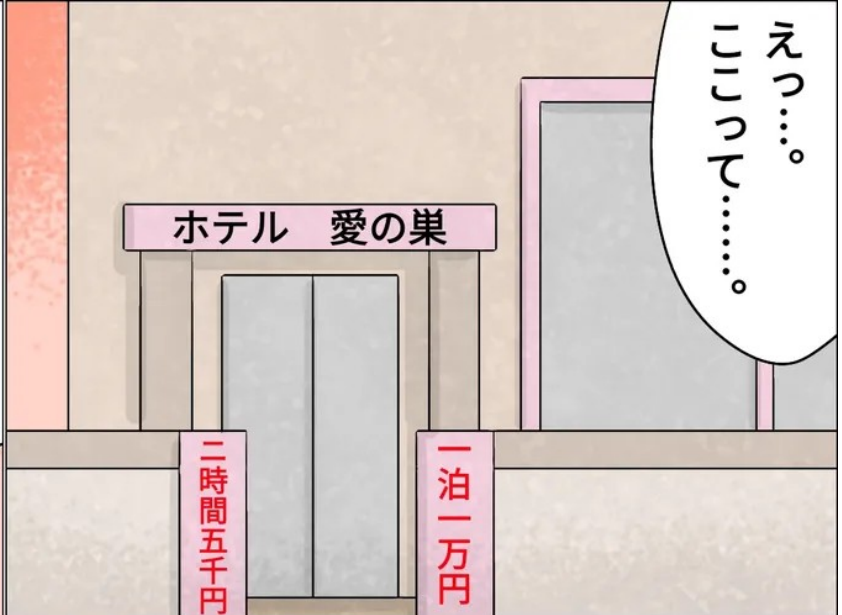
ああ、ここなら…。  
えっと…。

イエスイエス！  
アリガトウゴザイマス。

一緒に行きましようか？  
ゴーウイズミィー？



私達と一緒に  
ハイリマシヨウ。



えっ…。  
ここって…。



いいじゃないですか。  
海外じゃ男が浮気とか  
アタリマエですよ。

私達と一緒に  
楽しみましょう。



イヤ…だめですって…。  
僕、彼女いるし…。  
アイハブ…ア…ラバー！

そうやって半強制的に  
外国人たちに部屋に  
連れ込まれた…。

まずは、シャワー  
浴びましょう。

そうです、そうです。  
ハダカのツキアイです！

いやっ……。ホントに  
だめなんですって…。  
ストップ…。

いいじゃないですか！  
諦めてください！

イッパツ  
やらしてくーださい！

ガ  
シッ

そして、全員裸になり  
一緒にお風呂に入った…。

フ〜。フ〜。  
キモチ良いですね〜。



ナナミのよりも……。  
全然大きい……。



コウタ…。  
オセナ力流しますよ。

ビクッ

わっちょ…。  
いいです…。

てっ…そこ…  
背中じゃない…。

コウタ、さっき  
一緒にいたオナナのひと  
彼女ですか？

そ、  
そうだけど……。

アノコ、おっぱい  
小さかったですね。  
ワタシたちの方が  
大きいですよ。

ぽ  
ぎゅっ  
ぽっ

彼女…以外の…。  
女の人のおっぱい…。

なな、何やってんの…！  
やめてよ…！

ほあ  
はあ

くちゅっ  
くちゅっ

あー、顔赤くなった。  
可愛いですねー。  
ジャパニーズボーイ。



あれ？おちんちん、  
カタクなってますよー笑

ちっ違いますっ……。  
離してくださいっ……。



こうしてしばらく  
無理やりおっぱいを触らされて  
股間も…いじられた…。





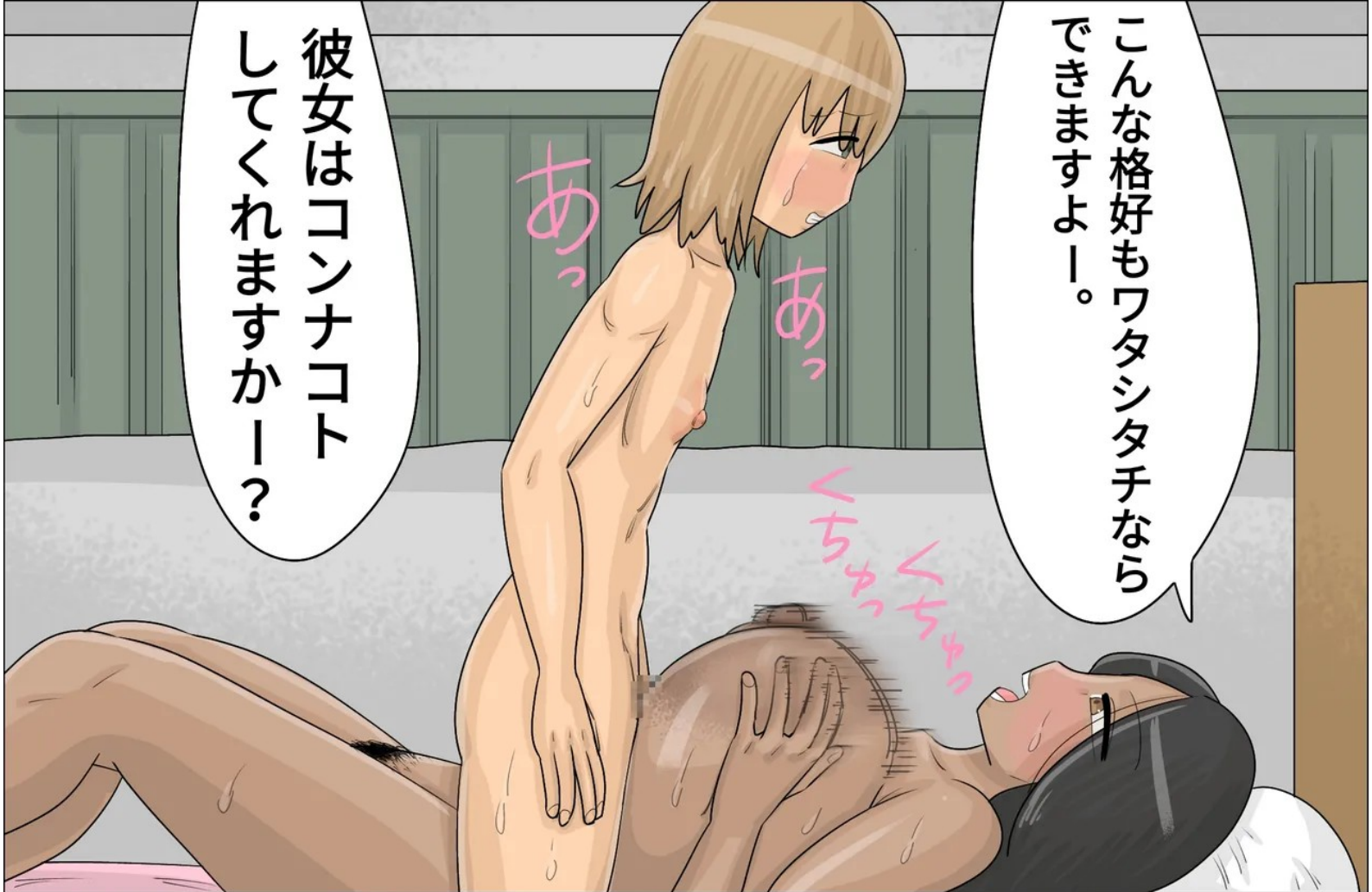
とは言っても  
ヤバイ…。  
すごい  
弾力があって。  
気持ちいい…。



ナナミのと比べたら……。  
バカッ…そんなこと  
考えるんじゃない……。

おおー、気持ち良さそう。  
ワタシも興奮しまーす。  
彼女いるのに、イケナイ男ですね。

はあはあ



彼女はコンナコト  
してくれますかー？

こんな格好もワタシたちなら  
できますよー！



してくれないでしょー？  
ジャパニーズガールは  
シャイですもんねー？

うつつるさいっ……。  
君たちより……。  
彼女の方が……。

じゃあ、彼女さんに  
カテルヨウニ  
頑張ってしごきまーす。

あつ  
やめっ…。



コウタどうしたんですか？  
気持ち良いんですか？

ヤバイ……。股間が  
ふわふわしてる  
ゼリーに包まれてるみたい…。

ヤバイっ…。  
イツちやう…。

おおー、  
デましたねー！。  
すっごい  
ノウコウですねー！。

オッパイやっぱり  
好きなんですネー？  
このヘンタイさん！。

ごめん……。  
ナナミ……。  
僕……。

ナナミという彼女がいるのに……。  
他の女の人と交わり、  
射精してしまったという罪悪感で  
コウタは困惑していた。

ぴゅっ

あ  
あ

ごめん……。ナナミ……。  
違うんだ……。これは……。  
この人たちに無理やり……。

あぁ  
はぁ



こういうのが  
スキなんですかー？



するっ

ソレトモ  
こうですかー？



すずるっ

耐えろ……。耐えろ……。我慢しろ……。ナナミを裏切っちゃだめだ……。

反応がスナオで可愛いですね。ホントにジャパニーズボーイは興奮しまーす。

その黒人の舌使いは、どんどんコウタの敏感な部分をなめてきて、何人もの男を相手にしてきた熟練のヤリマンという風だった。

コンナコトモ  
できますよー？

くっ…。そんなの…  
全然気持ち良くないから…。

ぐ  
っ  
ぐ  
っ

ホントですか？  
でも、チンコさっきよりも  
オツキクってますよ？

ホントは…  
ドMっぽい  
スキでしょ？

ぐ  
っ  
ぐ  
っ

うふふ笑  
正直にイッたら  
どうですか？



ひどいでーす。  
ヤバンだなんて…。  
コウタが今してる  
ウワキのほうが  
よっぽどヤバンね。



キモチイいです…。  
彼女じゃコンナコト、  
してくれないって



ちっちがう…。  
僕の…彼女は…  
君たちみたいな  
野蛮な奴らじゃない…。



もうコウタは  
ウワキヤロウです。  
足でシゴカレテ  
こんなに勃起  
してるんですから。

くちゅっ

くちゅっ

ちっちがう……。  
これは君たちに  
心を許したんじゃない…。  
あくまで生理的反應で…。

くちゅっ

くちゅっ

何言ってる？コウタ。  
ムズカシイ日本語、使わないで。  
おお、射精シチャイマシタカ。

びゅっ

びゅっ

なんで…。ナナミの時は…  
出なかったのに…。  
なんでこいつらにヤラれて  
出しちゃうんだよ…。

良いですね～。  
ジャパニーズボーイ。  
こんなザコチンポ可愛すぎて  
挿れなくなっちゃいますね～。

えっいやいやいや…。  
だめっ…。僕、彼女いるし、  
それは絶対に無理…。

ていうか、君たち卑怯だよ…。  
僕を騙して…こんなこと…。

そんな怒らないで  
クダサーイ。コウタ。

!!

ガ  
しゅ  
っ

コウタも喜んでました。  
たくさんシャセイ  
してましたよ？

やつ……。  
やめて……。放して……。  
そこまでしちゃったら……。

最後まで、ヤラシテクダサイ。  
イッパツお願いしまーす。

ナナミに……。  
彼女に……。  
嫌われちゃうよ……。

く  
ち  
ゃ

く  
ち  
ゃ

あ、ゴメンナサイ〜。  
手がスベってオチンチン、  
ハイツチャイマシタ笑

あつ…。ジャパニーズボーイの  
チンコ、大きいですつ……。  
奥まで届きまーす。

はあ  
あ  
ビクッ

はあ

ず  
う  
う

あ

ゴメン…。ナナミ…。  
僕…ナナミのことを…。  
裏切っちゃった…。

ビクッ



どうですか？  
ワタシノおまんこ  
気持ち良いですか？

すごいでーす。

ニホンのボーイで  
オチンチンこんな

大きい人は初めてでーす。

ぐちゃ

ぐちゃ

ぐちゃ

気持ち良くないっから…。  
早く抜いて…。全然っ…。  
気持ち良くないからっ…。

ぽん

ぽん

ぽん

いやっ…。無理でーす。

コウタがイくまで

続けまーす。

早くワタシに  
代わってください！。

Oh yah!  
Oh yah!

I'm coming!  
Feel so good!

I'm  
coming!

ナナミとの  
セックスと違って…。  
ヤバイっ…気持ち良い…。

くちゅ  
くちゅ

くちゅ  
くちゅ

何これ…。  
悔しいけど…。

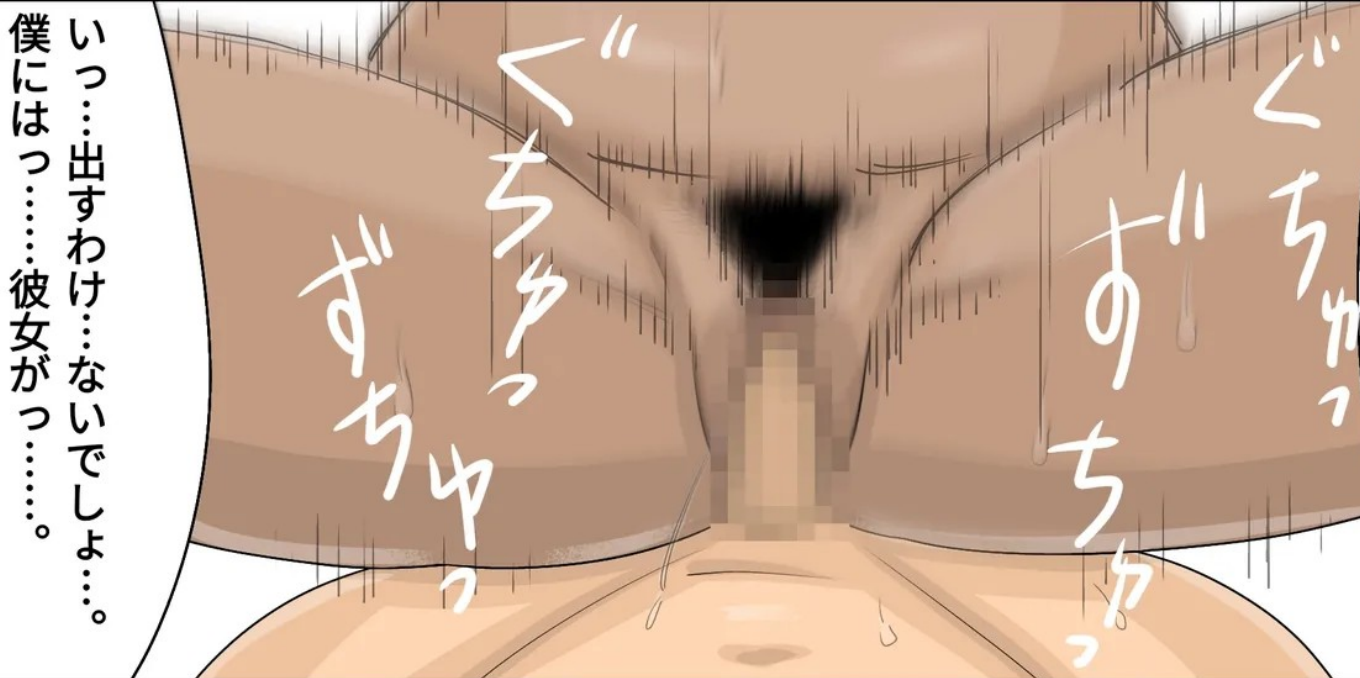
いっ  
いっ

へへへ。どうですか？  
コウタ？彼女はこんな  
下品で激しいエッチは  
してくれないでしょ？

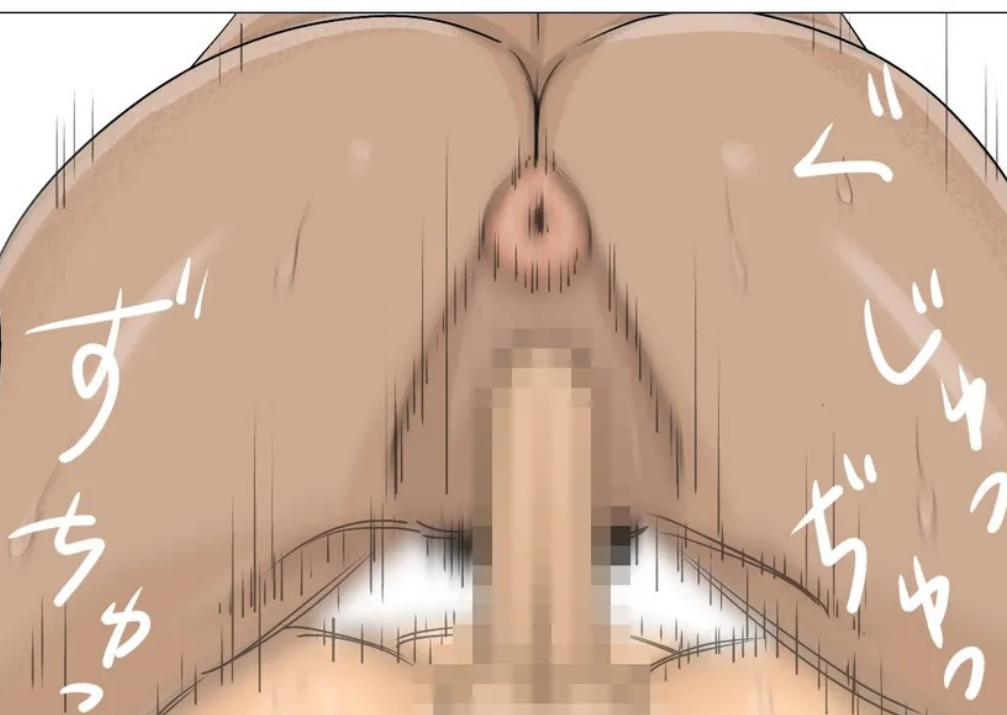
受け身でコウタに  
任せっきりのナナミとは違い、  
黒人の女たちはコウタを  
おかしくなるくらいいいじめ倒した。

ちゅ  
ちゅ  
ちゅ

ハヤク射精して…。  
たくさん精子クダサーイ。



そんなこと言わないで…？  
ホントはたくさん精子出して  
キモチヨクなりたいんでしょ？



あーあ、やっぱり  
出ちやいましたね笑  
ニホンのオトコなんて  
こんなもんですか？笑  
チヨ口いですね〜笑



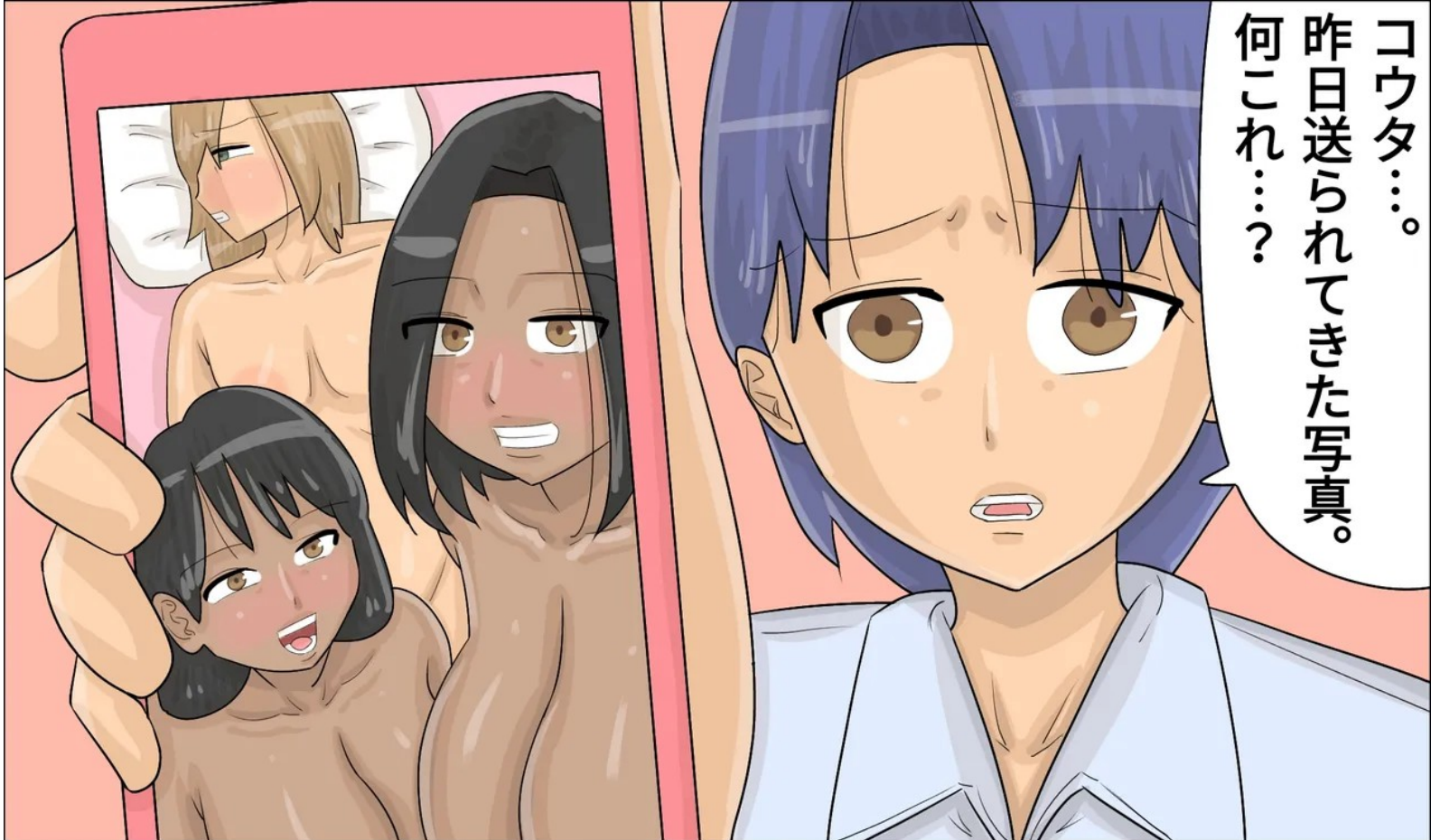
口では彼女が一番と  
言っておきながら、  
黒人たちのエッチに  
体が反応してしまい、  
コウタの自尊心は  
崩壊寸前だった。

そして、ラブホを後にした…。

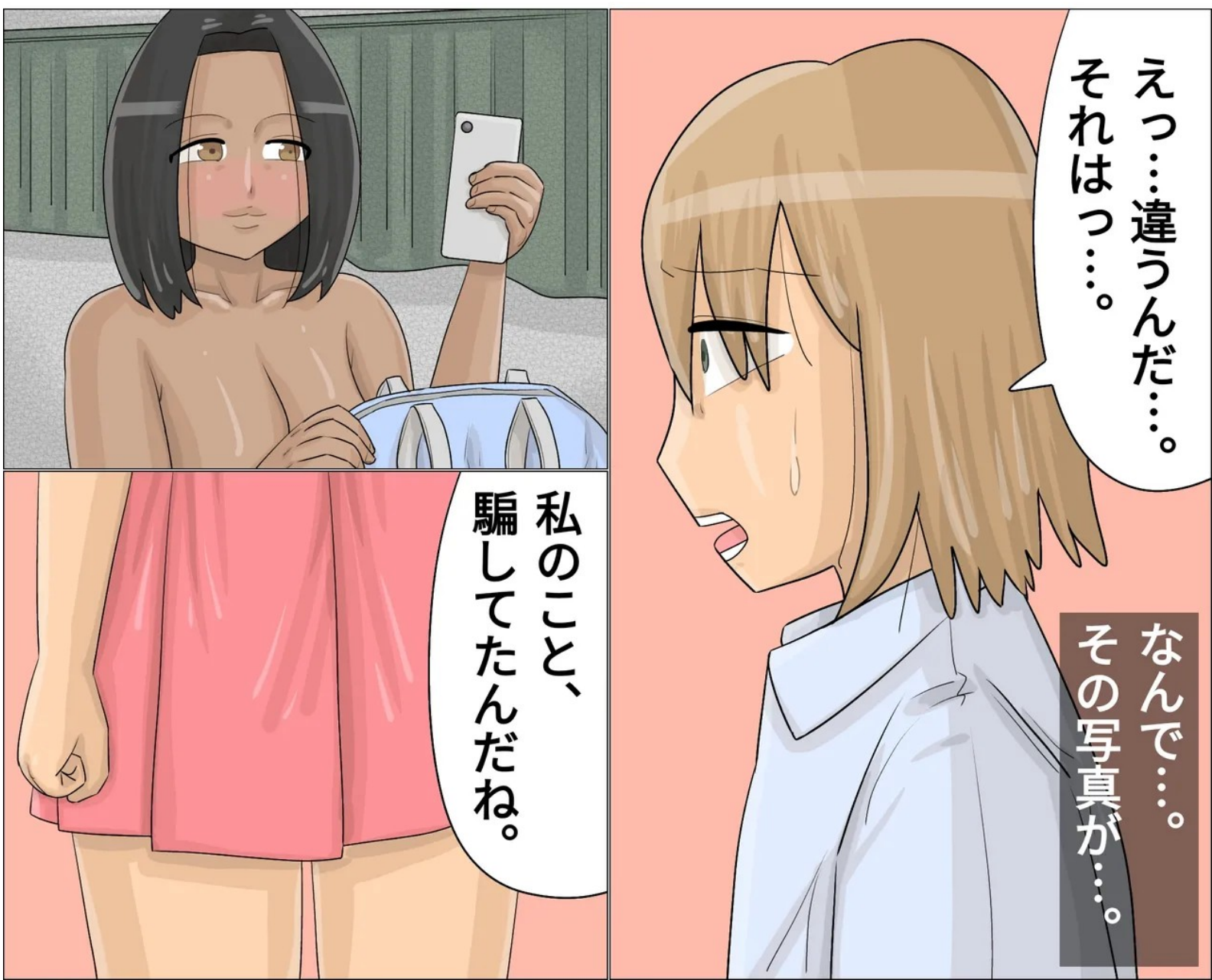
いっ…出すわけ…ないでしょ…。

僕にはっ…彼女がっ…。

コウタ…。  
昨日送られてきた写真。  
何これ…？



えっ…違うんだ…。  
それはっ…。



私のこと、  
騙してたんだね。

なんで…。  
その写真が…。

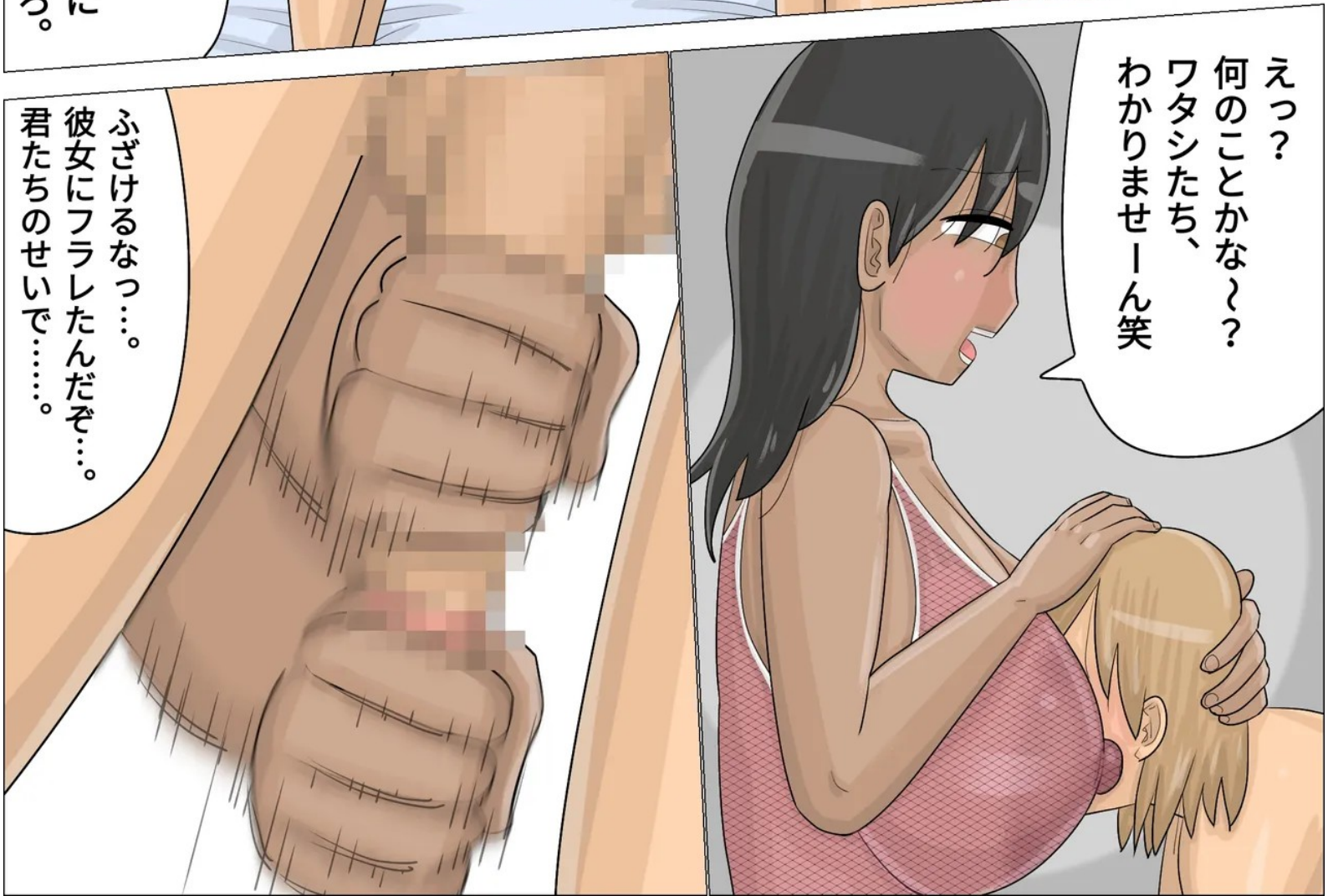
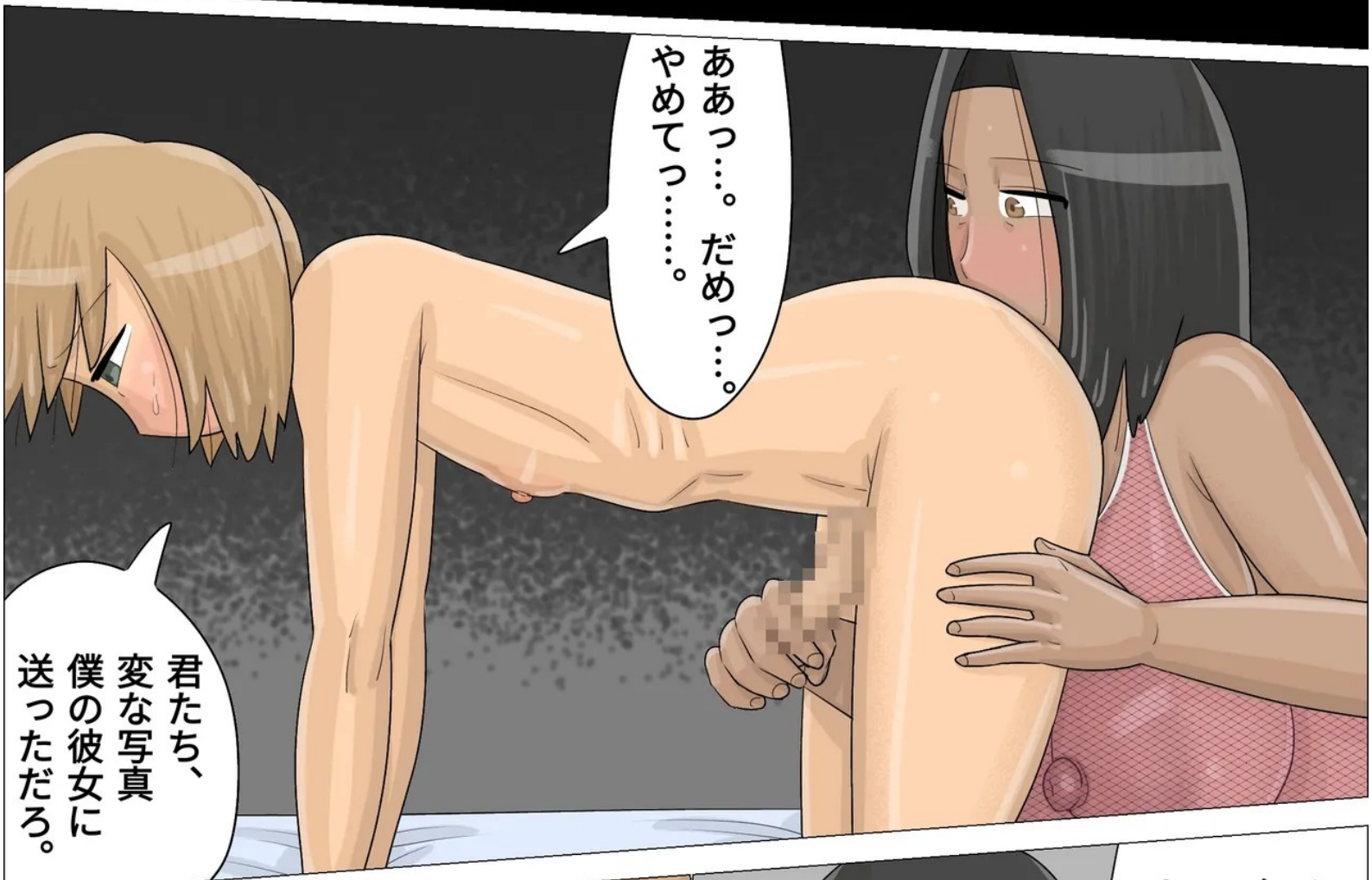
ちっ違うんだ…。  
それは、騙されて…。

言い訳なんて  
聞きたくないよ…。

私、ずっとコウタのこと  
好きだったんだよ…。

でもコウタは私のこと  
好きじゃなかったんだね。

さよなら…。



ていうか、何だよ。  
その服……。

はあ

はあ

くちゅっ

日本人は好きでしょ？  
こういうエッチなフク。

コウタに喜んでもらいたくて  
着たんだよ？興奮シマシタカ？

そんなんっ……。

そんなんの……

嬉しくなんて……。

そうですか。

それなら、嬉しいって

言うまでガンバリマースネ。

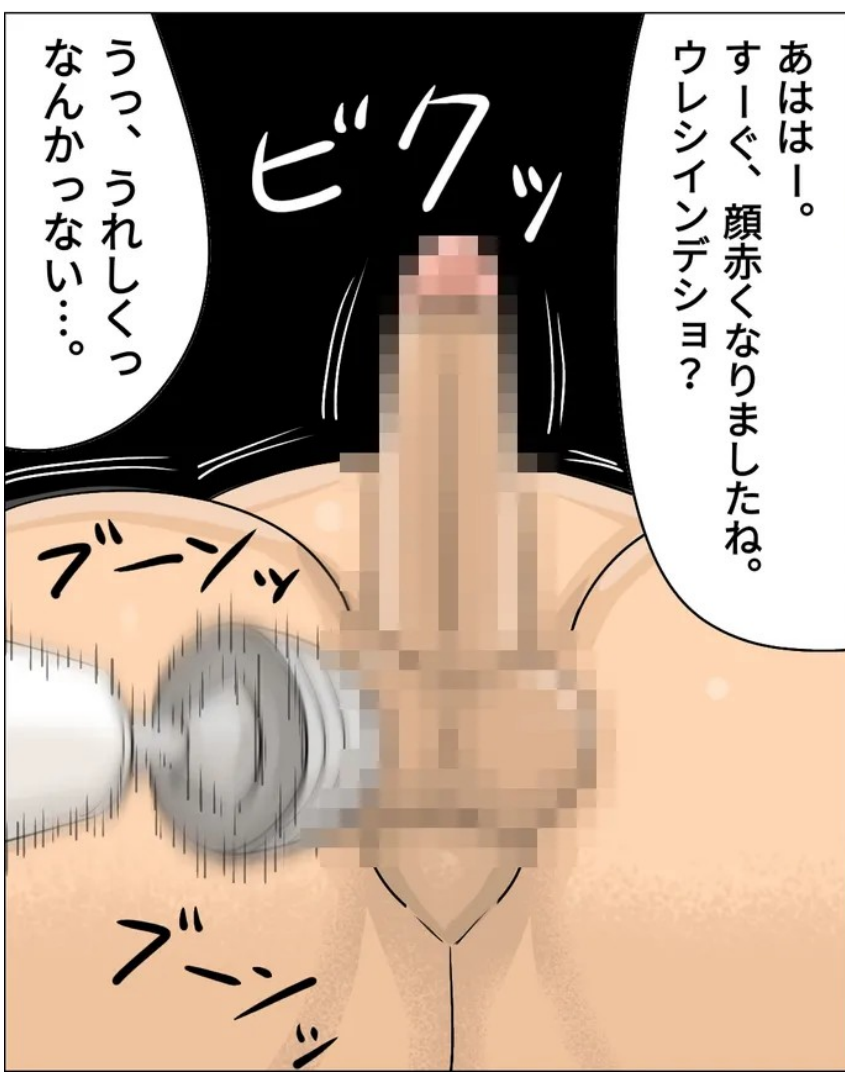
ちゅっ

ちゅっ



あっ……。  
やめっ……  
何やってんの……。

コレキモチイデシヨ？  
コウタはドMだから、  
こーいうの好きでしょ？笑

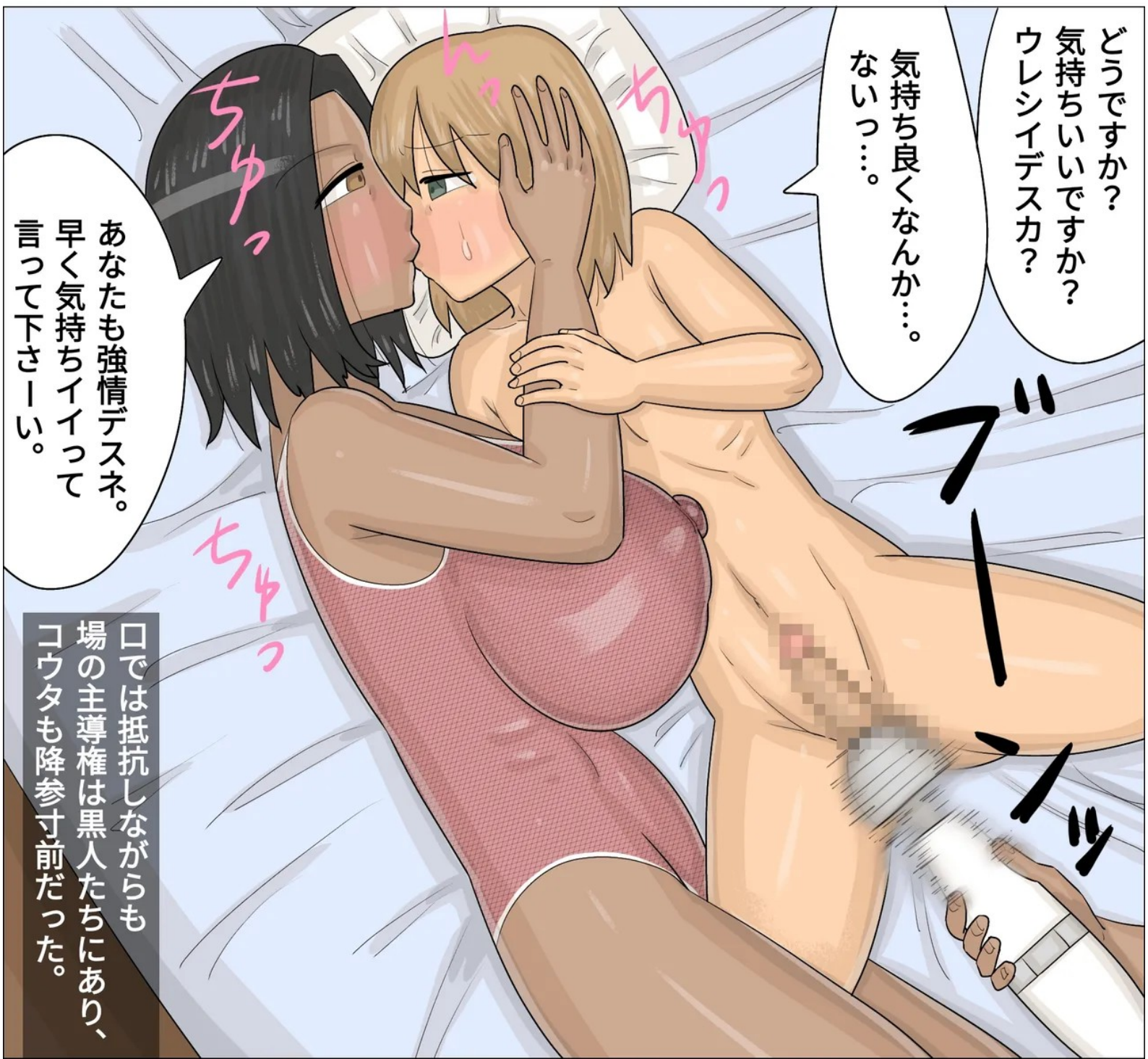
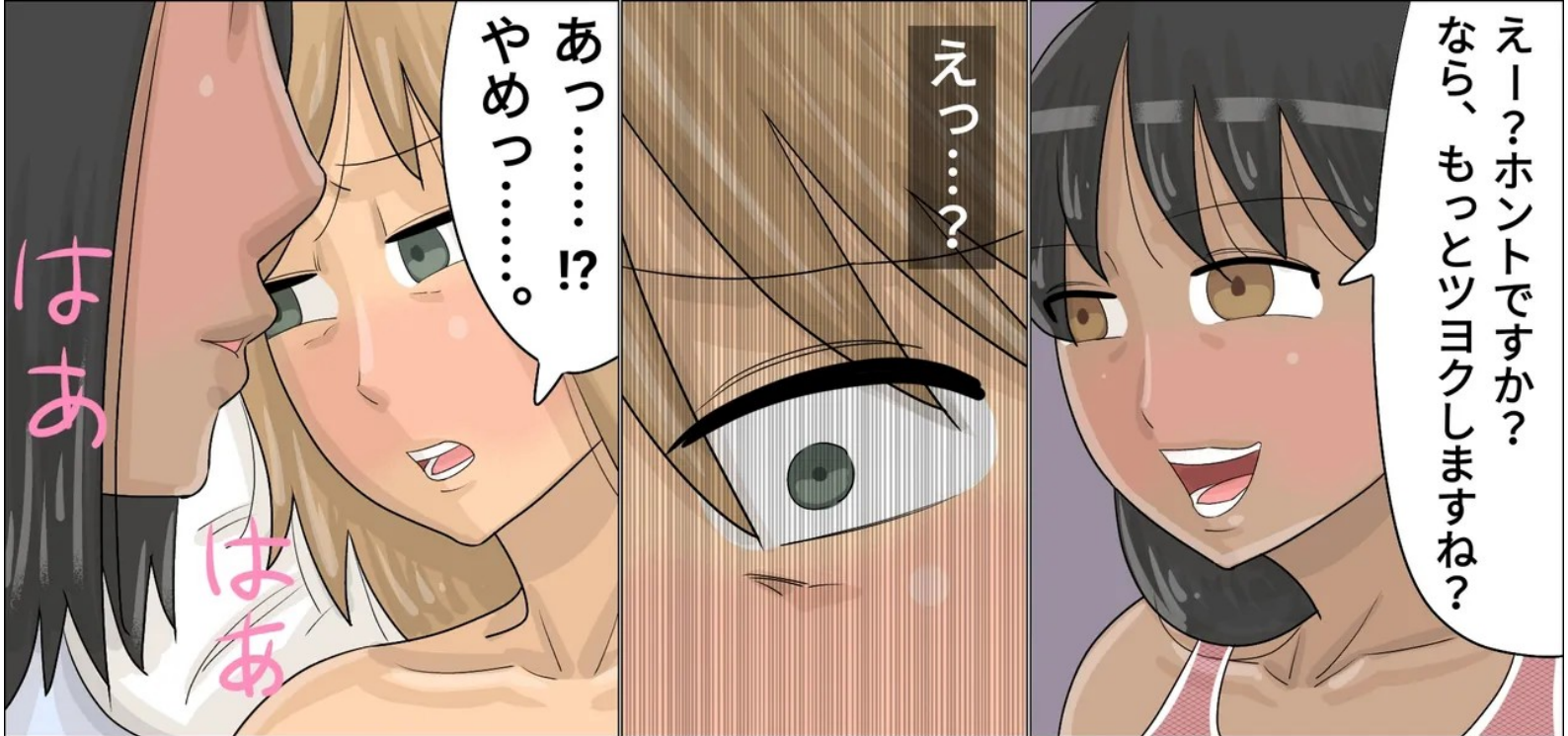


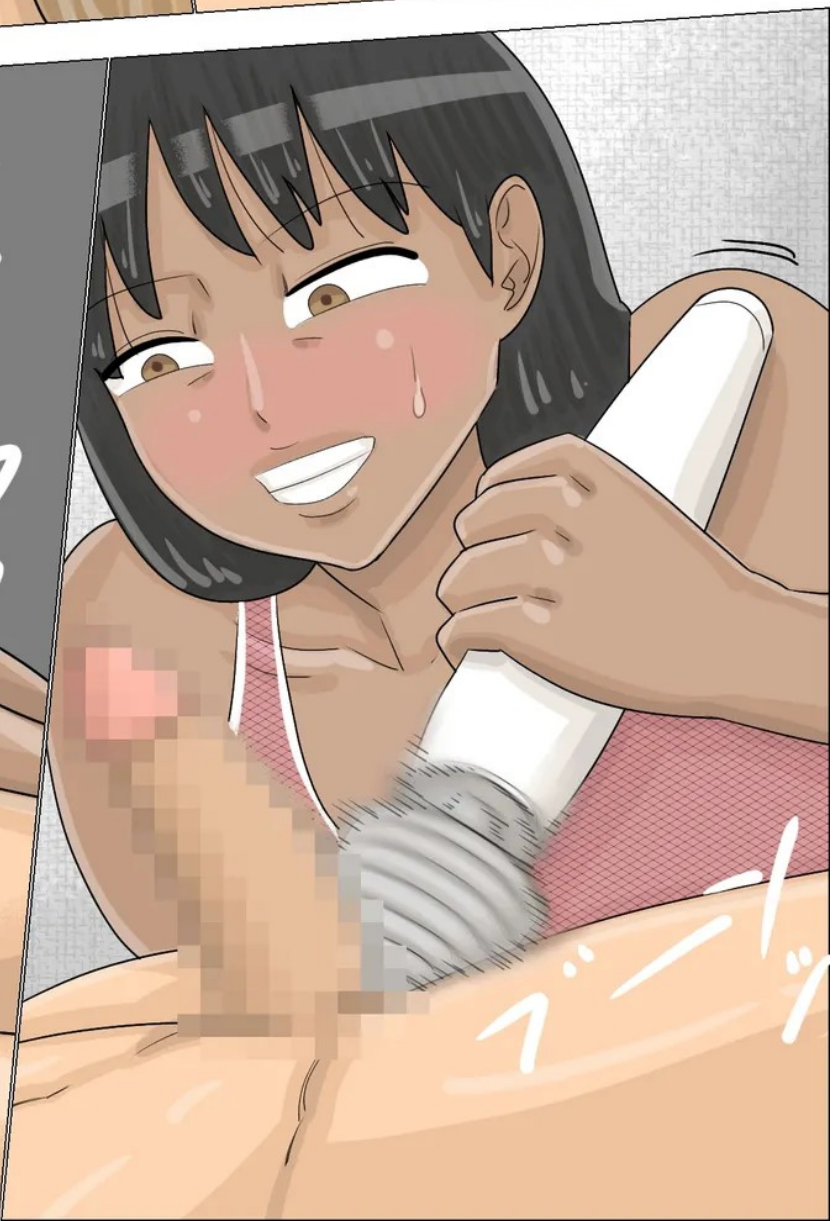
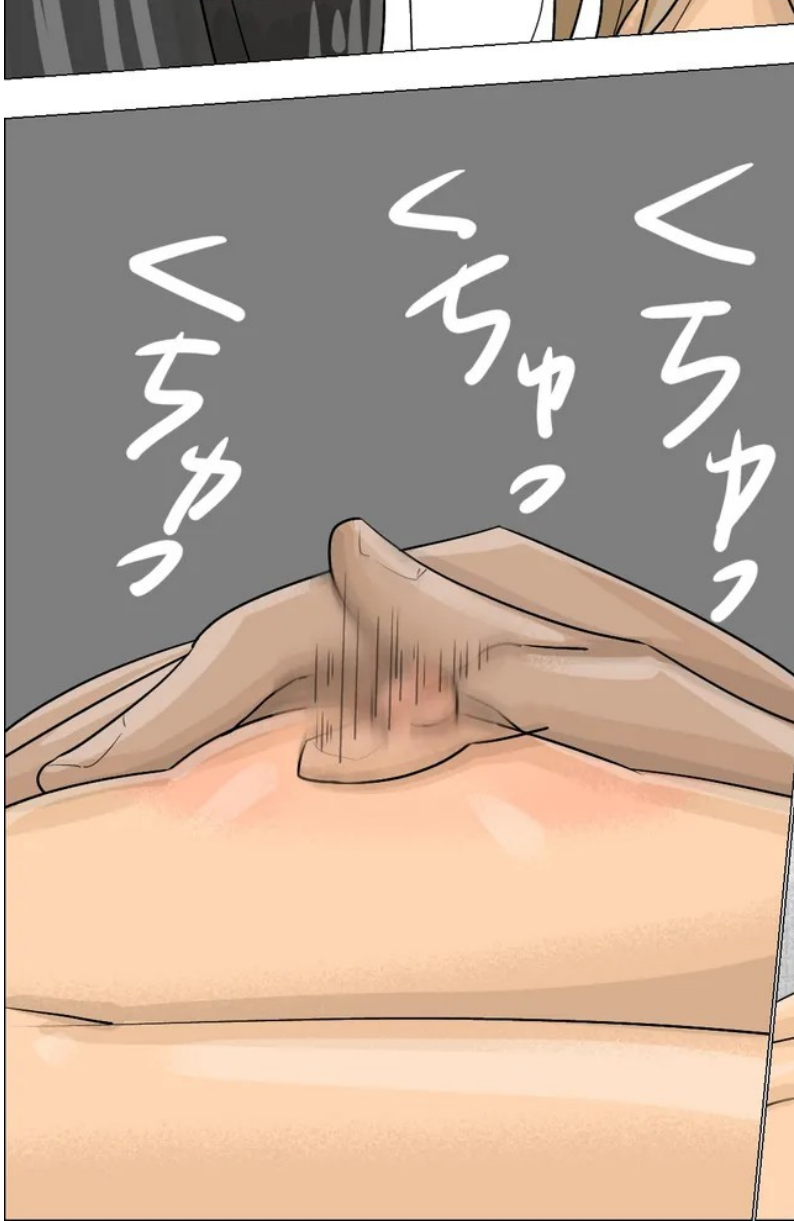
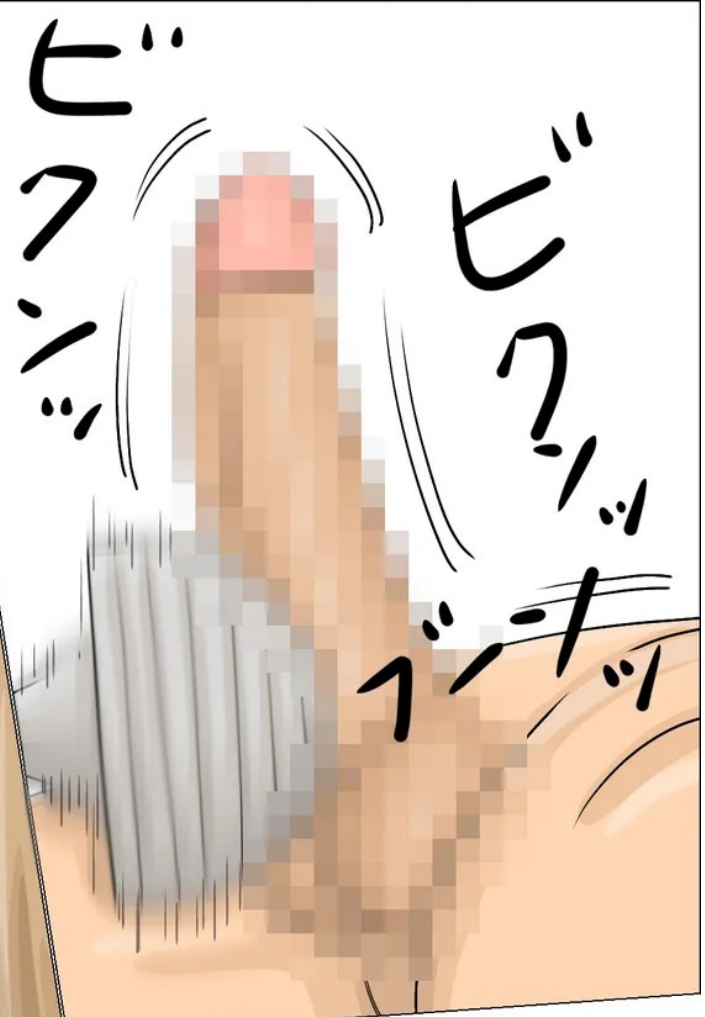
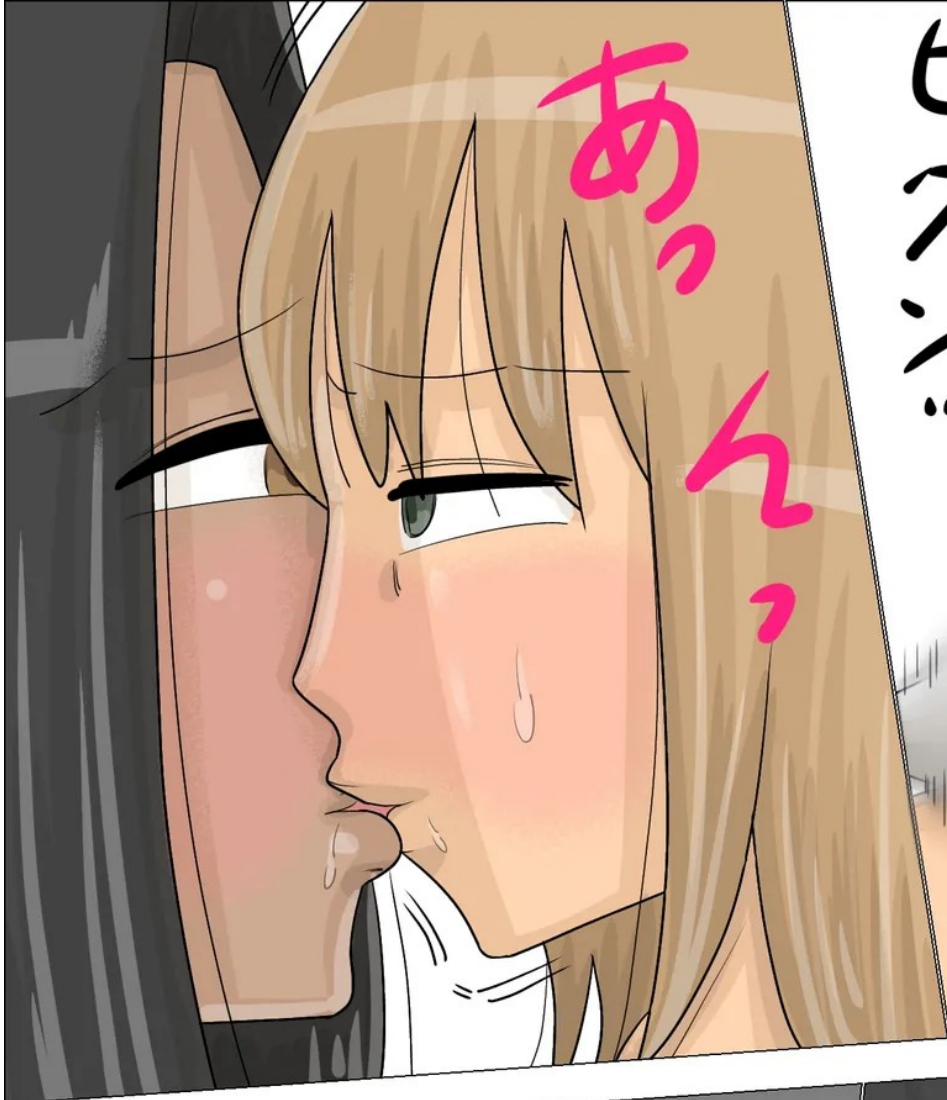
あははー！  
すーぐ、顔赤くなりましたね。  
ウレシイデシヨ？

うっ、うれしくっ  
なんかっない……。



あっ……。何これ……。  
股間が少しずつ振動して  
なんでこんなに気持ち良いの……？





わがったっ……。  
もうやめてっ……。

気持ち良いからっ……。  
もうやめてっ……。

ビクッ

彼女よりも好きですか？  
ワタシたちのこと。

あっ

好きっ……大好きっ……。  
ナナミよりも……。

ビクッ

ビクッ

だからもう……  
やめてっ……。

ブーンッ

そうですか。  
ウレシイデス…。  
ワタシたちもコウタのこと  
好きです……。

ご褒美に最後まで  
シテアゲマスネ。



あっ……。  
イツちゃう…。

もうやめてっ…。  
もうイってるから…。



コウタは彼女のことは忘れて、  
心はもはや黒人女たちの  
奴隷になっていた。  
そして、ここからまた  
さらにコウタのプライドが  
削られていくことになる…。

そうそう…。  
ソコダヨ？  
自分で挿れれる？

うん……。  
挿れれそう…。

ぐ  
ちゃ

ぐ  
ちゃ



挿った……。  
ああっ…気持ち良い…。

ぐ  
ちゃ

ぐ  
ちゃ

コウタは動かなくて  
イイデスカラネ…？

ワタシが  
動きマース。

はあ  
はあ

はあ  
はあ

くちゅっ

くいっ  
くいっ

くちゅっ

まだ出ますよね？  
射精しなかったら、  
ユルシマセンカラ。

はあ  
はあ

くね  
くね

くちゅっ

くちゅっ

あぁっ…。本当は男のほうが  
動かないといけない体位なのに…。  
女の人に動いてもらってて  
なんか変な感じ……。

あの……。もう出ちゃう……。はあ

はあ

一回休憩させて……。ダメです。抜かせません。

はあ

そのまま射精してください。マンコの中で出してください。

はあ

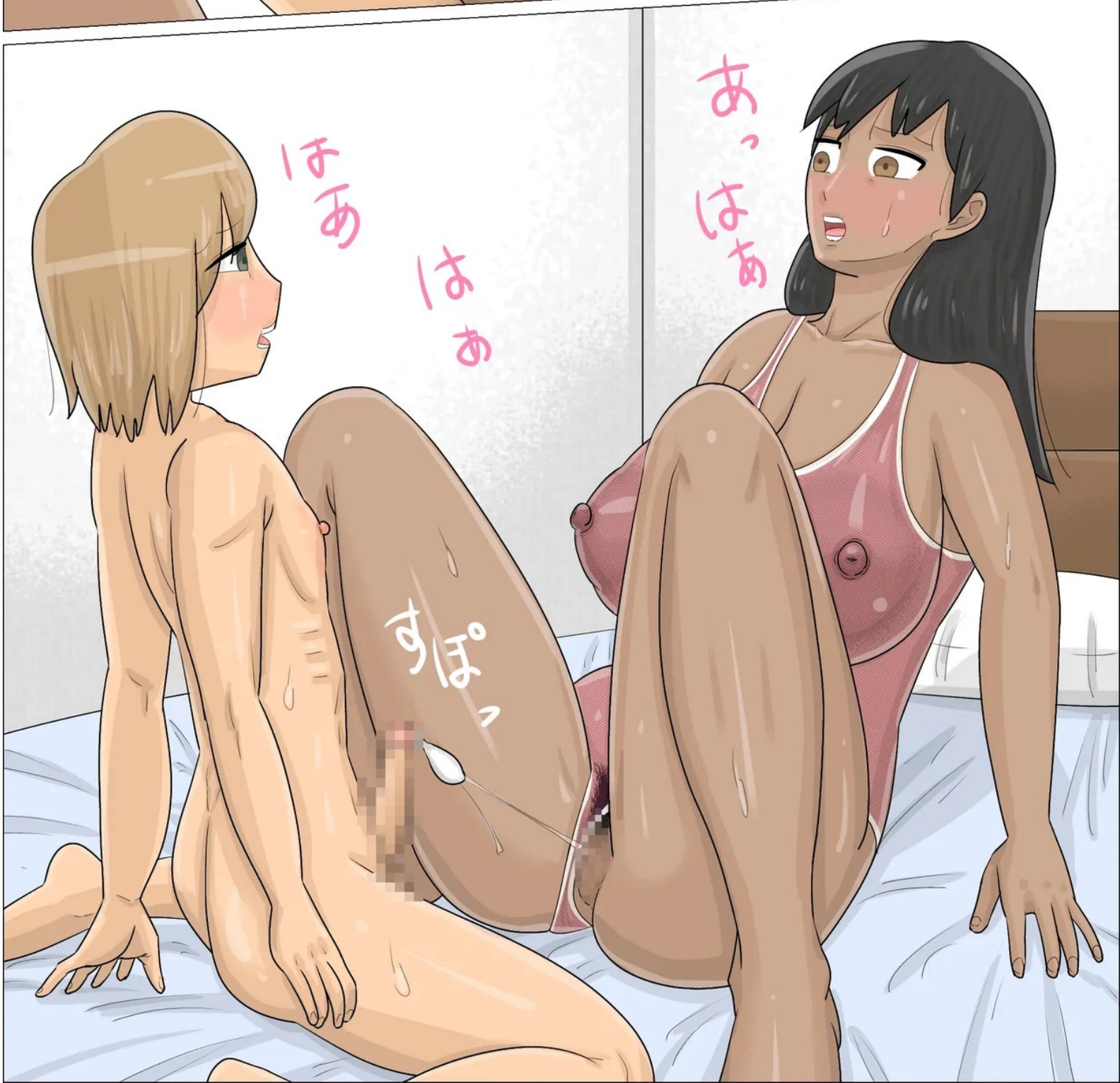
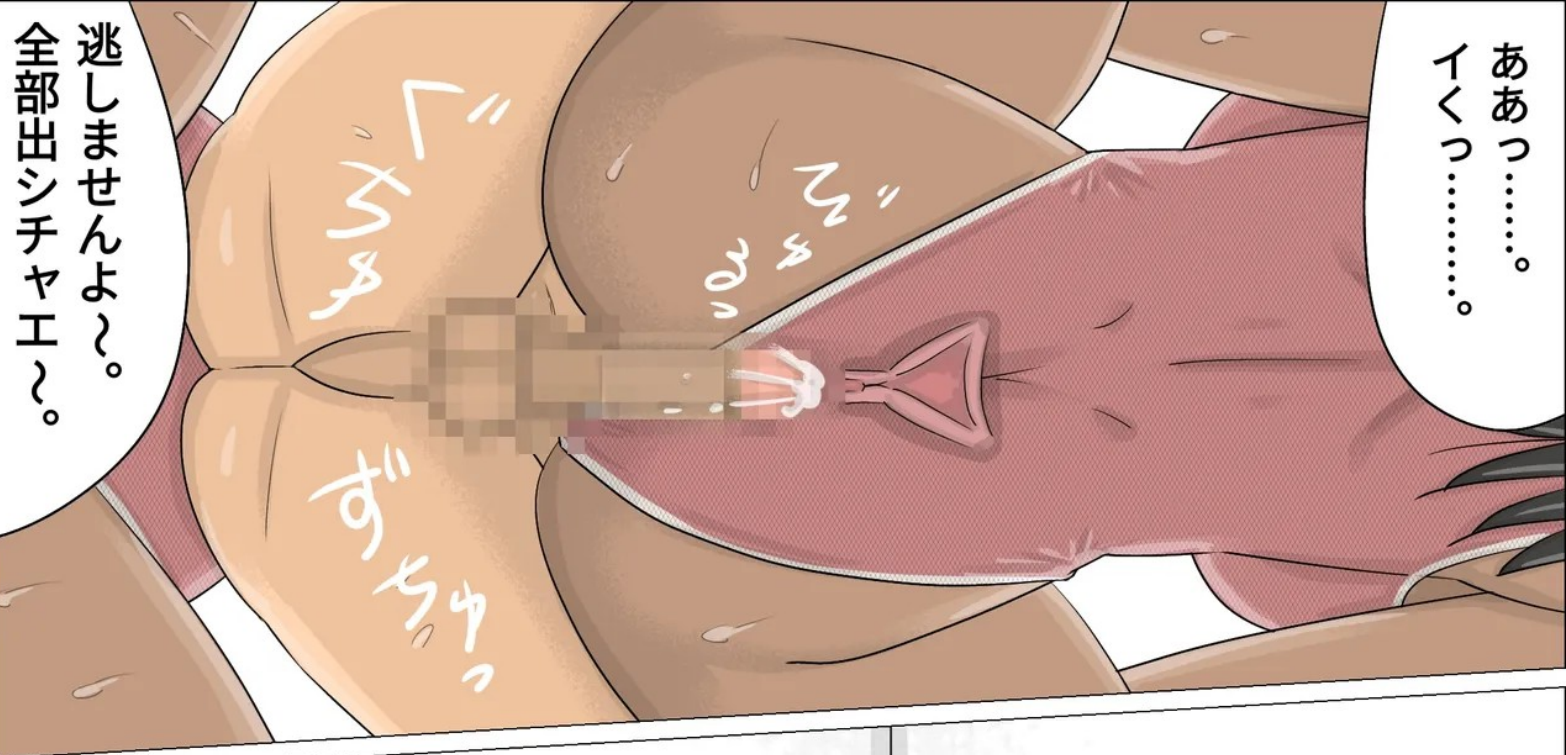
はあ

はあ

イツちゃえ……。イツちゃえ……。マンコの中で射精しちゃえ……。彼女なんて忘れちゃえ。

マンコの中で射精しちゃえ……。彼女なんて忘れちゃえ。

ああっ……。  
いくっ……。





わかんないけど…。  
彼女とその…えっちしたときは  
こんなに興奮しなかった…。

だけど…。  
君たちとのえっちが…。  
気持ち良すぎて…。

たぶん…。体の相性が  
良くなかったんだと思う…。

もうおかしく…。  
なりそう…。

ホントウニ悪い男ですね。  
彼女のこと、裏切っちゃって。

く  
ちゅ  
ちゅ

ぐちゅ

外国の女の人と  
浮気するなんて…笑

ちがうつ…。  
君たちのせいだ…。

はあ

本当はナナミとこのまま…。  
仲良くやっていく  
はずだったのに…。

はあ

ちゅ  
ちゅ  
ちゅ

ぱんぱん

ぐちゅ

君たちと…。

こんなこと…。

しちゃったから…。

ぱんぱん

ああっ…。  
またイっちゃう…。

ぽんっ

ぽん

ぐちゃっ  
ぐちゃっ

ええ。またイっちゃうの？

早いよ。

もっとガマンしてよ。

ごめんっ…。  
ナナミ…。

ビクッ

ぐちゃっ

あっ

ぽ

んっ

ナナミの体では  
興奮できなかった。  
初めのうちは黒人女たちの体に  
興奮している自分が情けなく、  
そして罪悪感があった。  
しかし、最後はすべてが  
どうでもよくなり、  
性欲に身を任せているコウタがいた。

# 今回のボツカット



どうも、同人作家のぺんちゃぺんです。  
同人誌のご購入、ありがとうございます。

ボツカットがもったいないので、載せておきます。  
需要あるかな？笑  
ユーチューブで情報発信、ツイッター・ピクシブで  
イラスト投稿していますので、  
よかったら遊びに来てください。

原作・ぺんちゃぺん